

2024.1.1

カレンダー付き

Happy New year!



「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。」ヨハネ10章11節

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院

2024年1月・2月号 NO.191

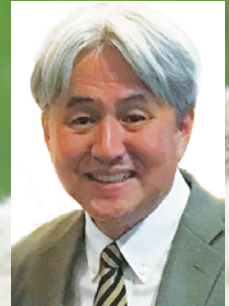
2024

Happy New year !

「わたしは良い羊飼いです。」

ヨハネの福音書 10 章 1 節～19 節

「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。」ヨハネ 10 章 11 節



学院長 鍛冶川 利文

聖書では人は羊に例えられます。羊はいつも群れをなし、臆病で弱いわりには好奇心が旺盛です。近眼の為に遠くが見えず、いつも下ばかり見えています。しかも方向オンチで迷いやすく、一度群れからはぐれたなら自分では戻ることできません。人も同じく聖書には「われわれはみな羊のように迷って、おのおの自分の道に向かって行った。」(イザヤ書 53 章 6 節)とあります。だからこそ人にも羊にも良き導き手が必要です。イエス様はご自身を「わたしは良い牧者である」(ヨハネ 10 章 11 節)と紹介されました。

1. 良い羊飼いは、正しい門から入ります。しかし、盗人や強盗は柵を越えて入り込むものです。

イスラエル地方では、羊たちは夜中、囲いの中に入り眠りました。その囲いには柵があり、その上に棘(とげ)のある植物が植えられており、そこを無理に越えようとするケガをする恐れがありました。しかし、そこを乗り越えようとするものたちがいました。それが「オオカミ」や「熊」、「ライオン」、そして、「盗人」や「強盗」たちです。

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。羊の囲いに門からはいらなくて、ほかの所を乗り越えて来る者は、盗人で強盗です。」(ヨハネ 10 章 1 節)

これらのものたちは常に「ほかの所」から入ろうとする者たちです。隙をうかがい、羊が寝静まった時にやって来ます。この盗人と強盗の目的は羊の命を奪うためです。このような危険が常に囲いの外にはありました。しかし、その羊たちの安全を絶えず見守る者がいました。それが門番です。門番は、夜通し羊たちを見守ります。この門番がいてくれるので羊たちは安心して眠りにつく事が出来るのです。

イエス様ご自身は、わたしは「私は羊の門です。」と仰っていました。

「そこで、イエスはまた言われた。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしは羊の門です。』」(ヨハネ 10 章 7 節)

門は、羊が安全に出入りする事ができる為のもので、その意味は、「私があなたを守る」という意味です。当時、羊たちを野外で集めて泊ませるとき、簡単な柵を作り、囲いを作り、そこで寝かせました。そして、門は出入りするものを見張る役割です。ですから、羊飼いが門となり、群れ全体や周囲に目を

(次ページに続く)

光らせていました。ですから「わたしが門」と言うとき、「わたしが見張っているの、あなたがたは安心して休みなさい。」という意味が込められています。このお方が見守っておられるので、羊たちは安心して休むことが出来るのです。ダビデは少年の頃、羊飼いでした。そのダビデが有名な詩篇の23篇で、「主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。」(詩篇23篇1節・2節)

と言ったのは、主が私を見守って下さることへの安心と信頼の告白です。

2. 良い羊飼いは、羊の事を良く知っている。しかし、悪い羊飼いは羊の事に関心がない。

羊たちは夜中、囲いの中で、いくつかのグループがいっしょになって眠ります。そして朝になり、それぞれの羊飼いたちが自分の群れの羊に向かって呼びかけるのです。その時、羊たちは自分の羊飼いの声を聞き分け、その声についていきます。

「門番は彼のために開き、羊はその声を聞き分けます。彼は自分の羊をその名で呼んで連れ出します。彼は、自分の羊をみな引き出すと、その先頭に立って行きます。すると羊は、彼の声を知っているの、彼について行きます。しかし、ほかの人には決してついて行きません。かえって、その人から逃げ出します。その人たちの声を知らないからです。」(ヨハネ10章3節～5節)

羊は、自分の「羊飼いの声」を聞き分けます。それはいつも、その声を聞き、憶えているからです。しかし、「ほかの人」の招きの声にはついていきません。なぜなら聞き覚えがないからです。その声は「偽の羊飼い」であり、「偽の導き手」です。偽の羊飼いは、羊の必要には関心がありません。導く自分にだけ関心があるのです。又、どこに羊を連れていくかも知りません。イエス様は、このことを「盲人が盲人を手引きする」(マタイ15章14節)と言っています。しかし、良い羊飼いはご自分の羊の事を良く知っています。そしてどこに行くかも分かっているのです。

「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』」(ヨハネ14章6節)

その羊たちを連れていく先は、父の御元であり、命あふれる所であり、いこいの水のほとり緑の牧場です。イエス様はその羊たちを、一匹一匹、それぞれの名前で呼びかけて連れ出します。

「彼は自分の羊をその名で呼んで連れ出します。」(ヨハネ10章3節)

イエス様は連れ出すときに、ただ全体に声をかけて連れ出すことをせず、個別に名前を呼んで連れ出します。それは一匹たりとも別の群れに取り残されるような事にならない為です。羊には一頭一頭に名前がつけられていました。決して番号で呼びません。番号で呼ぶのは、食堂の呼びだしと刑務所です。食堂の呼びだしには問題ありませんが、刑務所で番号で呼ぶのは、人としての権利が制限されていて個性や性格などを重要視できないからです。でも大切な存在であるなら、それに相応しく呼びかけるのです。

「だが、今、ヤコブよ・あなたを造り出した方、主はこう仰せられる。イスラエルよ。あなたを形造った方、主はこう仰せられる。『恐れるな。わたしがあなたを贖ったのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。』」(イザヤ書43章1節)

神は臆病で恐れているヤコブをイスラエルと呼んで励まし、優しく導かれました。イエス様も私たちにそうしてくださいます。なぜなら良い羊飼いは羊の事を良く知っているからです。一人一人の事をよくご存じだからです。恐らく天国に行ったならイエス様が私の事をどれほど詳しくご存じであるかに驚くと思います。主は私たちの事を全て知っておられます。その上で私を導いて下さるのです。しかしこの言葉の意味を当時のパリサイ人たちはよく分かりませんでした。

「イエスはこのたとえを彼らにお話しになったが、彼らは、イエスの話されたことが何のことかよくわからなかった。」(ヨハネ10章6節)

パリサイ人たちは、自分たちが偽の案内人である事実を知りませんでした。でも羊である人々は、誰が本当の羊飼いであるかを知っていたのです。

3. 良い羊飼いは、羊の為にいのちを捨てる。しかし、雇い人は、羊を置き去りにして逃げる。

良い羊飼いの最大の特徴は、その羊の為に「いのちを捨てる」と言うことです。なぜそんな事が出来るのかということ、それはただの「雇われ人」ではなく、
(次ページに続く)

その羊の為に、特別に「心をかけて」いるからです。

「わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。牧者でなく、また、羊の所有者でない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして、逃げて行きます。それで、狼は羊を奪い、また散らすのです。それは、彼が雇い人であって、羊のことを心にかけていないからです。」(ヨハネ10章11節～13節)

日本の明治から昭和にかけ、国が欧米に追いつき追い越して行く時代の中、社会から取り残され貧困にあえぐ人たちに、常に手を差し伸べ心をかけ続けた人がいました。「賀川豊彦(1888～1960)」です。

賀川豊彦は、国内よりも海外で有名で、その業績は海外で高く評価され、「20世紀の三大聖人(ガンジー、シュバイツァー)」の一人に加え称されました。(平和賞・文学賞など計5回候補となった)又、牧師や伝道活動以外にも社会事業、政治活動、労働運動、農業組合、生活組合(COOP)の設立に貢献し、戦争中は2度の投獄を経験しながら、戦争直前のアメリカとの和解と平和の為に日本代表団の一員として国から遣わされるような役割もしました。このような広範な活動の原動力となったものは、自らの生い立ちの中からの、又、イエス様の生き方に倣うものでした。賀川豊彦は、神戸の裕福な船問屋に生まれながらも4歳の時に父母を亡くし、父の実家に引き取られました。父母がいない寂しい幼少時代を過ごしますが、中学校時代に興味があった英語を通して宣教師(長老派教会のローガン・マイヤース牧師)と出会い、洗礼を受けます。その後、明治学院高等学神学予科を経て、神戸の神学校に入学します。(著書、「死線を越えて」)しかしそんな中、賀川豊彦は、

在学中に、神戸の新川の貧民窟(スラム)に居を移し、貧しい人たちとともに生きる決心をします。

そのような決断をさせた理由は、賀川豊彦の生い立ちと苦難の状況にありました。実は、賀川豊彦は婚外子(妾)として生まれ、幼くして死別した母は芸者を営んでいました。幼い時に裕福であった家は15才の時に兄の放浪の為に破産し、一家は路頭に迷います。賀川自身は、体が弱く、結核を患い、これまでの苦難の多さに、人生の生きる意味を自らに問い続けます。そんな中、宣教師との出会いを通して救われ、神学校に入学したものの、持病の結核が悪化し、喀血(かっけつ)の日々が続きます。そんな中、医者ももう手の施しようがなく残された命は長くはないと宣告します。これは賀川豊彦が21才の時でした。そのような状況の賀川豊彦は、こう告白します。「どうせ近いうちに死ぬのだから、死ぬ日迄、ありったけの勇気を持って、神と人にとに仕えたい!」そして更に「神が、自らの位を棄てて、ナザレの労働者イエスとして、人間生活に入り込んだと言うならば、わたしが貧民窟へ入って生活するくらいは何でもないことである!」と語りました。これはイエス様につき従う心です。良い羊飼いであるイエス様は私たちが本当の命を得る為にご自身の命を捨ててくださいました。この一年もイエス様に導かれて生きましょう!

「～わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」

(ヨハネ10章10節)



賀川豊彦 (1888～1960)

祝、卒業!

●9月15日(金)午前10時より、2年間の学びを終え、晴れて「柏原龍馬・梨夏ご夫妻」は、祝福のうちに学び舎を後にしました。この日、奉仕教会の「長沢崇史夫妻」も駆けつけてくださり、熱い祝福のお祈りをもって二人を送り出してくださいました。新たな歩みのご夫妻の上に、神様の備えと力強い導きが豊かにありますようお願いいたします。



柏原 龍馬 (2年卒業)



柏原 梨夏 (2年卒業)

■卒業にあたり私自身が回復したのは「人格的な」神との関係です。目に見えない方を愛するなら「リアルな存在」でないと不可能。それを知り神様が日々人格的に迫ってきました。その神に委ね、私という存在への愛を知り、何度も神に出会いました。神様はずっと側にいて、全てを与え、私は神の中にいたことをこの場所で確信しました。(ルカ15:31)

この2年間私たちを支えて下さった神様に全ての方に恵に心から感謝申し上げます。

■2年間の学びを通して、神様が私に与えて下さっているギフトがどれほどの恵みであるかを知ることができました。第一に家族。夫婦+娘2人で過ごしている様子そのものが、周囲に祝福を流していく存在であることを実感しました。第二に、私自身。私を神様をあらゆる存在として、日々整えてくださっていることを受け取りました。これからもっと証して者と変えられたいです。ここで共に愛し合うことができた神の家族に感謝します!



KINGDOM SEEKERS

5

Your kingdom come. Your will be done on earth as it is in heaven.

「権威か？ 権力か？」

学院特別講義

「リーダーシップ論」

キングダムシーカーズ

牧師 久保田文吾師

1. ダビデは権威があった

全イスラエルの長老たちは、ダビデを王として立てることにしました。それまでも事実上、イスラエルを動かしていたのはダビデだったからです。

イスラエルの全部族は、ヘブロンヘブロンのダビデのもとに来てこう言った。「**ご覧ください。私たちはあなたの骨肉です。これまで、サウルが私たちの王であったときでさえ、イスラエルを動かしていたのはあなたでした。主はあなたに言われました。『あなたがわたしの民イスラエルを牧し、あなたがイスラエルの君主となる』と。**」(IIサムエル5：1～2)

ダビデは、サウルからの逃亡生活の最中でも、人々から慕われ、支持されていました。国外で寄留生活を強いられたときも、同胞イスラエル人を助けるため、仲間たちを率いて戦場に向かいました。人格も行動も、まさに王にふさわしかったのです。ですからダビデには、「権威」があったのです。

「権威」とは、私たちが人々に仕え、しもべとなることで与えられる健全な影響力です。人々

は喜んであなたに従います。人々はあなたに愛されているから、あなたを愛するのです。神の国のリーダーシップは、肩書きや地位ではありません。あなたが実際にその役割や働きを担い、周囲が「あなたはまさしくこのために召されているよね」と認めて納得してくれるとき、肩書きがなくても、すでにリーダーなのです。

主イエスも、地上では何の肩書きもありませんでしたが、仕える者となり、力ある御業を行い、その影響力を発揮し、神の子であることを、証明しました。「…神はナザレ人イエスによって…力あるわざと不思議とするしを行い、それによって、あなたがたにこの方を証しされました。…」(使徒2：22)これが、聖書的な統治、聖書的なリーダーシップです。

2. ダビデは権力を得た

しかし今、いよいよ正式に、ダビデは全イスラエルの王座につきます。

「**イスラエルの全長老はヘブロンヘブロンの王のもとに**来た。ダビデ王はヘブロンで、主の御前に彼らと契約を結び、**彼らはダビデに油を注いでイスラエルの王とした。**」(IIサムエル5：3)

(8ページに続く)

2024 CFNJ CALENDAR

わたしは、良い牧者です。
良い牧者は羊のために
いのちを捨てます。

(ヨハネの福音書10章11節)



1 JAN

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

●15日/3学期開始

2 FEB

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

3 MAR

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

●8日/卒業式

4 APR

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

●15日/入学式

5 MAY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
17	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6 JUN

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7 JUL

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

●5日/1学期終了

8 AUG

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9 SEP

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

●2日/2学期開始

10 OCT

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11 NOV

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12 DEC

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

●6日/2学期終了

民は契約を結びました。法的に、制度的に、ダビデは王になりました。ここからは、今までのように誠実に人々に仕えなくても、ダビデは思いのままに人々に命令し、自由に動かすことができます。ここでダビデは、「権力」を得たのです。

「権威」は、人々に仕えることで長年かけて得ていく、健全な影響力でした。しかし「権力」は、制度やシステムによって確保された、構造的な支配力です。

いまやダビデの王権は堅固なものになりました。安定した権力構造のおかげで、よりスムーズに国を統治できるでしょう。

もはや昔のように、時間をかけて信頼関係を築く手間暇も要りません。周囲から支持してもらうための誠実さも要りません。証を立てる必要もありません。人々は嫌々ながらも「王の命令だから」と従ってくれます。

しかしこれは、ダビデにとって新たな誘惑の始まりです。

この段階に来ると、多くのリーダーは、それまで培った「権威」よりも、手軽で即効性のある「権力」に頼りたがるのです。

そして、もしリーダーが「権力」だけに頼り、使い続けるならば、その土台であったはずの「権威」は、知らぬ間に少しずつ溶解し、水面下の氷塊を失った氷山のように、沈み始めます。

3. リーダーの「預金残高」

リーダーシップは銀行口座のようなものです。あなたがしもべの心で仕えていくとき、口座には入金が続きます。そして権威という名の十分な残高が貯まります。引き続き丁寧に関係を築き、権威にもとづいて人々を導くなら、この残高はほとんど減りません。

しかし、ときには強引に権力を行使しなくてはならないときがあります。これは、口座からの出金です。調子に乗って続けていると、残高がどんどん減っていき、気が付くと残高不足で、もはや人々がついてこなくなります。

企業でもよくある話です。最初は自宅のガレージで友人と起業し、テナントを借りて事務所開

設、社員も増えて、事業拡張、株式公開、一部上場…。けれど、ある時期から、古参の社員が離脱し、社内で分裂が生じ、家庭でも伴侶から「あなたは変わってしまった」と言われ…。

教会はどうでしょうか？ 開拓が小さな家庭集会から始まるとき、人々がついてくるのは、あなたの人格や、愛の雰囲気、語られる御言葉、訪れる臨在によってです。しかしいつかあなたは宗教法人の代表理事や、スタッフたちの雇用主になるかもしれません。そのとき、あなたは、かつてのような預金残高を保っているでしょうか？

権力は、どうしても行使しなければいけないときに、最低限だけ使うのです。

普段から権力に頼ると、知らないうちに人々の心は離れます。かつて心通わせた盟友が、今も同じ心境でそばにいるとは限りません。あなたがそれに気づくのは、最後の段階になって彼らが明確な離反（辞表提出や、解任決議など）を表明したときですが、ときすでに遅しです。

そうならないためには、たとえ権力を得たとしても、日頃は権威によるミニストーリーを心がけるのです。ロバに乗ってやってきた、柔和で謙遜な私たちの王イエスの姿を、思いましよう。

4. バテシェバ事件と、ナタンの声

バテシェバ事件は、ダビデが権力を間違って行使してしまった事件です。

彼が王という権力を持つ前だったら、はたして、この事件は起き得たでしょうか？ 人々に誠実に仕えて信頼を勝ち取ることだけが彼のリーダーシップの保証だった時期、つまり権威によってのみリーダーだった時期に、この事件を起こすことがあり得たでしょうか？

預言者ナタンは、ダビデのリーダーシップレベルの低下を知らせた忠告者です。ナタンにとって、それは命懸けの忠告でした。ダビデは権力を行使して、王のスキャンダルを暴くナタンを処刑することもできたでしょう。しかしダビデ

はここで、ナタンの預言を謙遜に聞き、悔い改めました。これこそダビデです。

どんなリーダーも失敗しますが、そのときナタンの声に耳を貸せるかどうか、そこがリーダーシップの命綱です。あなたのためのナタンは、いるでしょうか？ 無自覚のまま権力が暴走し始めたとき、憎まれ役になっても、それを注意してくれる人はいるでしょうか？ ナタンを置きましょう。ほとんどの場合、牧師にとって最高の預言者は、一番身近にあなたを観察している、あなたの伴侶です。

5. ダビデか？ サウルか？

ダビデは、途中で失敗はあっても、権力ではなく権威にもとづいたリーダーシップで最後まで歩めました。これは、彼が王となる前に、荒野の時代に多くの訓練を受けることができたからです。

一方で、サウルは、権威を築く前に権力を持ってしまった悲劇の人です。彼は神の命令に不忠実だったため、王の座から退けられました。(1サムエル13・14～15・23)しかし、見た目には最後まで王でした。神は約束を違わない神なので、権力構造としての王の地位は残したのです。しかしもはや「権威」はありませんでした。神の霊は離れ、残像だけの王、抜け殻だったのです。

権威者ダビデになるか？ 権力者サウルになるか？ 私たちは問われています。以下に挙げる対比をもとに、あなたの生き方を吟味し、神の国のリーダーシップを実現していきましょう。

ダビデとサウルの対比

- ダビデは仕えることで権威(影響力)を得た。(1サム22・14)
- サウルは地位につくことで権力(支配力)を得た。(1サム10・24)
- ダビデは上にある権威に従った。(1サム17・15)
- サウルは上にある権威に従わなかった。(1サム13・9、15・9)

- ダビデは油注がれた者に手を出さなかった。(1サム24・6、26・9)
- サウルは油注がれた者を殺した。(1サム22・18)
- ダビデは人より神の御手を恐れた。(1サム24・6、26・11)
- サウルは神より人の顔色を恐れた。(1サム13・8)
- ダビデには友情関係を築く相手がいた。(1サム18・1)
- サウルには友情関係を築く相手がいなかった。(1サムエル13・8)
- ダビデは神に熱心だった。(2サムエル6・21)
- サウルは人に熱心だった。(2サム21・2)
- ダビデの所には問題のある人ばかり集まってきたが時間をかけて育てた。(1サム22・2)
- サウルは優秀な人ばかり集めて、即席でエリート集団を雇った。(1サム14・52)
- ダビデは神の宮を建てようと願った。(2サム7・2)
- サウルは自分の記念碑を建てた。(1サム15・12)
- ダビデは契約の箱を喜び、体裁も気にせず踊った。(2サム6・14)
- サウルは体裁を気にし、サムエルを強いて一緒に礼拝した。(1サム15・30)
- ダビデは自分の罪を言い訳せず認めた。(2サム12・13)
- サウルは自分の罪を言い訳した。(1サム13・12、15・15)
- ダビデは神で自身のために選ばれて王となった。(1サム16・1、3)
- サウルは人々のために選ばれて王となった。(1サム8・20)
- ダビデは荒野の季節をってから王になった。(1サムエル23・14)
- サウルは荒野の季節なしに急に王になった。(1サムエル10・21)
- ダビデは正しいささげ物をささげた。(2サムエル6・18)
- サウルは中途半端なささげ物をささげた。(1サムエル11・15、13・3-8)



卒業生に質問してみました！

学院ってどんなところ？



伊江 留津美 師

MOJ ファミリーチャーチ牧師
CFNJ 聖書学院（22期卒業生）
ピアノ講師



●自己紹介をお願いします。

沖縄県在住の伊江留津美です。父が開拓し、今はICF教会の枝教会となった「MOJファミリーチャーチ」の牧師をしています♪

●入学した年齢と理由を教えてください。

19歳のときに入学しました。理由は、中学生の時から献身することは決めていたので、どこの神学校に行くかを祈っていました。そして、私が賛美している姿を見た方が「あなたはCFNIの賛美に似ている。北海道にCFNJがあるからどう？」と言われたので導きを祈り始めました。その後、教会で導きを一人で祈っているときに、神様の肉声で「あなたの道はここにある」とはっきり聞こえたので入学しました。

●どんな生徒でしたか？

問題児だったと思います！（笑）怒りっぽくプライドが高く、しょうもない人でした。先生方と奉仕教会のICF、当時の寮父母さんと学院生の皆様には本当に感謝しております。

●卒業したコースと、そのコースを選んだ理由を教えてください。

アルプスコース（3年）卒業しました。元々は2年コースを卒業したらCFNIに転入しようと思っていましたが、母国語で学ぶことが楽しくて、そのままアルプスコースにいきました。

●印象深い授業を教えてください。

ジェリー先生の「霊的権威」です。霊的権威の学びは肉的に権威に従うことではなく、聖書を基準として権威に従うことの喜びを学びました。また正しい権威を学んだことで、実際に権威者になったときに、イエス様から愛をもらい、流しつづけることでおかげで大変なときもありますが、ICFの覆いもあるので楽しい牧師ライフを送っています。また、アルプスコースの「教会カウンセリング」です。牧師になるとカウンセリングをする機会が多く、精神が病んだ方とも直面するため、この授業がなかったら対応しきれないことが多かったと思います。

●学院の魅力を3つあげてください。

講師がバラエティ豊か

社会派・福音派・聖霊派の先生がいらっしゃるので、本当にバランスがとてもよかったです。またどの先生もお互いを批判しないので、一致を感じました。

ゲストスピーカーが贅沢

日本・海外の有名なゲストスピーカーの授業が素晴らしかったです。ゲストが学院に宿泊されると、夕食時に交わることができるとも貴重なお話をきくこともできました。

実習の時間

路傍伝道・伝道集会・超教派の集会の企画運営が牧会にとでも役立ちました。また、入学したての頃は実習長の指示に従う忠実さを学びました！そして、実習長になったときはリーダーの立場になるので、謙遜さがないとリーダーはうまくいかないと感じました（笑）

●学院生活で思い出深い話を教えてください。

実習で子供向け伝道集会「流しそうめん」を企画して、地域の子供たちを誘うために近所の公園にいきました。数人の子供たちにちらしを渡したら「宗教気持ちわるい」と砂をかけられてしまいました…。そのとき、一緒にちらしを配っていた友人が「ルースちゃんは、私のお友達なの。友達に砂をかけられたら、みんなどう思う？」とおはなしをはじめ、聖書の話になり伝道の場になりました。どんなときも伝道になるんだな～と感動した思い出です。もちろん、子供たちはきてくれました♪

●アウトリーチで思い出深い話を教えてください。

フィリピンにアウトリーチに行ったときに、現地の方が貧しい中でも信仰をもって明るい姿にとっても感動しました。また引率してくださった理事長のジェリー先生の信仰が今でも忘れられません。荷物がなくなったとき、みんな顔が真っ青になったのに、先生だけは「大丈夫！もどってきます！」と笑っていて、本当にもどってきました。どこにいても主を信頼すれば生きていけると確信した出来事でした。

●寮生活の良いところを教えてください。

北海道の美味しいものを食べたり、きれいな景色をみたり、信仰の友達と夜中まで語り合ったり、最高の青春でした（笑）今でも信仰の友達とは祈り合っています。全国からくるので、あちこちに友達はできます。ただ、文化や年齢がちがう学院生との共同生活なので、意見の衝突もありますが、そのたびに自分を変えられていきました。何度悔い改めたでしょう……。でも一番は、毎日ディボーションと礼拝があるので神様の臨在の中で過ごせる日々は寮生活の醍醐味だと思います。

●入学を考えている方へのメッセージ

教会や宣教師の召しがある方も、自分が信仰者として成長したい方もおすすめ的神学校です。共同生活は距離が近いので、愛することが難しいときが多いです。でも、だからこそ感謝を伝えあい、尊敬しあい、時には悔い改めることによって生まれる一致のすばらしさを知りました。また、イエス様を愛する理事長・学院長夫妻・講師の先生・友人との出会いが財産になります。私にとってCFNJ聖書学院は「臨在」と「学び」と「人間関係」から、イエス様の愛を体験できた最高の時間でした。心よりおすすめします♪

CFNJ 講義・ ゲストスピーカー

2024 年度 3 学期 授業カリキュラム スケジュール

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講
できます。聴講は無料です。(席上献金あり。
一部授業は有料) 又、各コースの授業も聴講可
能です。(有料) 詳しくは学院事務局迄お問い
合わせください。

**無料体験入学
実施中!**
平常授業のある3日間 (3泊4日)

(2024年1月15日 (月) ~3月8日 (金)迄)

※詳しくは事務局まで。

2024 年

1・2年コース (必修科目)

(敬称略)



米村英二 師
大津キリスト教会牧師
学院顧問。

1/15~19 1・2時間目



宇佐神実 師
ジェニシスジャパン会
長・創恵聖書教会、茨城
チャペル牧師・全アジア
創造教会コアメンバー。

2/5~7 1~3時間目



水野明廣 師
神の家族キリスト教会代
表、「生ける水の川」責任者。
名古屋福音聖書学校校長。
学院顧問。



神戸聖志 師
名古屋福音聖書学校講
師。クリスチャンライフ牧
師 CFNI 卒。

3/5~7 2・3時間目
8日 (金) は、卒業式となります。
午前9時30分~正午迄

	月	火	水	木	金
1 AM9:15~10:10	の信仰 イエスキリスト 金聖圭	旧約聖書概論Ⅲ 鍛冶川 利文	に学ぶ 聖書の夫婦 鍛冶川 紀子	旧約聖書概論Ⅲ 鍛冶川 利文	教会開拓者訓練 伊藤 仁
2 AM10:30~11:25		聖書の自己像 坂本 清憲		ガラテヤ書 田中博	終末論 松原望
3 AM11:35~12:30		ガラテヤ書 田中博	主の祭り 金 聖圭	テモテ書 長沢 克己	旧約聖書概論Ⅲ 鍛冶川 利文

アルプスコース (必修科目)

1 AM9:15~10:10	祈りⅡ 田中博	リーダーシップⅡ 長沢 克己	霊的戦い 岡田好弘	教会教育 益田良一	牧会カウン セリングⅢ 小栗 昭夫		
2 AM10:30~11:25					リーダーシップの21の原則 鍛冶川 利文	主の祭り 金 聖圭	上級説教 松原 望
3 AM11:35~12:30							

選択科目

午後 PM13:30~15:30				実習 (必修)	ドラマクラス 鍛冶川 紀子
---------------------	--	--	--	------------	------------------

随時願書受付中!

新入生募集中!

cfnj.com 2024年4月入学、各学期からの入学可。

- アルプスコース (牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース (1学期だけの短期で学ぶ事も可能です)

無料体験入学
実施中!

平常授業のある3日間 (3泊4日)

※詳しくは事務局まで。



授業風景

■SNSでCFNJの最新情報を

- ・Facebook : @CFNJBS
- ・Instagram : CFNJ 聖書学院

「関東地区」CFNJ 同窓生会開催のお知らせ!

CFNJ 卒業生の皆さん、お元気ですか? 私達学院の関係者一同は、いつも皆さんのことを思い、祝福と守りをお祈りしております。この度、本当に久しぶりとなりますが、私達夫婦が出かけて行って、皆さんにお会いし、お互いに近況を語り合い、主の恵みを分かち合い、祈り合い、励まし合いたくて、関東地区の同窓生会を計画しました。新しい年を迎えてお忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、お友達も誘ってぜひ参加して下さるようお招きいたします。

- 日時: 2024年3月23日(土) 午後1時~3時
(参加費無料: 茶菓の準備あり)

- 場所: 「日野キリスト教会」(今回卒業生の岩崎牧師の特別なご厚意で、会堂を使わせていただくことになりました。) 住所/〒191-0061 東京都日野市大坂上1-30-5 ☎(042) 583-3680 ※参加できる方は下記のいずれかの email 迄、ご連絡ください。お待ちしております。

・学院: office@cfnj.com 鍛冶川 kajikawa@cfnj.com 紀子 noriko@cfnj.com
CFNJ 聖書学院 学院長 鍛冶川 利文&紀子



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ 聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

- HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
- e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

